一般質問

市民の声を市政に

健全な財政運営を行うための財源確保対応策は

吉田幸太郎

問 納税は国民の義務である。税負担の公平性を確保する意味で、滞納者対策を推進し納税促進を行う必要がある。深谷市の市税・国保税の未納の現状と対応はどうなっているのか。

答 平成17年度決算での市税未納額は約16億3千万円・国民健康保険税未納額は約16億1千万円となっています。平成18年度は「新たな滞納者を増やさない対策」や「滞納処分による徴収強化」などに重点をおき業務を遂行しております。

問 税の収納率を高めるためにどのような対策を行っているのか。

答 未納者に対し、まず督促状を、次に催告書を発送し、市役所での納税相談・分納誓約等の指導を実施しております。さらに納税推進員による訪問活動も行っています。また、滞納者に対する「行政サービス制限」も収納率向上対策委員会で協議しています。

「団塊の世代」の地域参加について

問 今後大量に退職する「団塊の世代」の能力やパワーをまちづくりに役立て、地域の活性化につなげる支援体制・仕組みづくりはどうなっているのか。

答 「深谷市盛年式」でのアンケート等から意見の聴取・把握を行い、社会教育委員会議等で対策を検討し、各種事業に反映させてまいります。また、地域の事業等の情報提供は広報、公民館だより、市のホームページで行い、参加を呼びかけてまいります。

上柴公民館大規模改修について

加藤利江

問 ①外倉庫に使っていないクーラーがある。撤去すれば体育祭の道具や上柴祭りの道具などが一度に片づけられる。②外壁の塗装をやり直してほしい。③体育室の更衣室が物置状態になっているので、①のクーラーが撤去されれば、更衣室は確保できる。④多目的室をつくった方がよいのでは。

答 上柴公民館は24年経過しているため、上柴地区住民の施設に対する希望も考慮し、現状把握と費用を考慮のうえ、総合的な観点から整備を検討いたします。

上柴公民館

問 市役所の駐車券を出す建物について聞きたい。

答 お客さんが濡れないように配慮します。

問 緑ケ丘の市営住宅の鳩のフン公害について聞きたい。

答 状況に応じて入居者にて対応をお願いいたします。

問 同住宅の非常口のハッチの修理について聞きたい。

答 今年度中にすべて修理いたします。

問 川本グラウンドゴルフ場の使用料金について聞きたい。

答 市民相互の公平性の確保を図るべく、全運動施設を対象に取り組みを進めます。

問 グラウンドゴルフ場の整備について聞きたい。

答 18年度内にローラー転圧をいたします。

深谷市発注工事について

吉野茂男

問 土木工事、管工事に分類される判断物件が整合しない業者が受注しているケースがあるが、請けても工事経験がなく下請に出していることは問題。長い年月専門分野で実績を上げている業者に発注することが工事金額の低下となる。市民もわかりやすい。長年の経験と技術の豊富な専門業者に発注を検討する考えは。

〈一般質問記事の掲載は、発言順です。〉

答 市は実績や経験年数により専門業者を個別に指名入札ではなく、資格を満たした者は誰でも入札できる一般競争入札を原則としています。ほとんどが一般的な工事であり、特別な技術を要しないことや特定の者でしか施工できない工事ではありません。入札に参加する者の主とする業種か否かを問わず該当する入札への参加を認めています。

鎌倉街道上道復元について

松本光政

問 鎌倉時代に重要な交通路で、鎌倉街道上道は荒川を川越岩付近で渡河して二方向に分岐する。小前田を経て上州藤岡方面へ、この畠山重忠や熊谷直実の武将が栄枯盛衰を刻んだ歴史の道を復元は。

答 市としては史跡の保護と公園等の整備の整合を図ることは、困難であると考えます。しかしながら、この沿線の文化財についての情報を学校や地域、家庭に広く提供し、その活用を図っていくために市広報、ガイドマップなどの媒体によるもののほか、街道沿線の文化財を紹介しながら活用を推進してまいりたいと思います。

問 お茶々の井戸を公園整備し、昨今のいじめ問題の解決や予防対策のため、親子共同体験の広場として活用してはどうか。

答 各家庭における親子共同体験として地域の歴史や文化財を知ることは、親子のコミュニケーションの方法としても重要であり、いじめ問題解決の一助となるのではないかと考えています。県が子どもの健全育成のために進めています「彩の国5つのふれあい県民運動」で「自然、人、本、家族、地域とふれあう体験活動」が掲げられており、親子のふれあいを促すために歴史的な価値をもつ史跡の活用に努めてまいりたいと思います。

問 花園水辺公園の周辺有効利用は。

答 この公園は多目的広場と駐車場が主体となって有効利用されていると考えております。

花園水辺公園

救急医療が危ない 救急車で、川越や越谷へ搬送

市川誠一

問 市川プランNo5

深谷市から救急車で川越や越谷（70㎞）へも運ばれている。死亡してしまう人が出ないのが不思議なくらいだ。

深谷日赤は、産婦人科の常勤医は4人、単純計算で365日の夜勤を4で割っている状態で、非常勤の手伝いで何とか持ちこたえている状態である。小児科は夜10時以降の診療を火、木曜は休んでいる。

午後10時以降の小児科の救急医療体制を、どうしようと考えているのか。

答 小児科の午後10時以降の救急医療は、熊谷、深谷、児玉地域の広域で6病院、全日の436日の内122日少ない体制であり、万全とは言えません。県、保健所、医療機関と調整を図り万全を期せるよう取り組みます。

市内バス巡りで、市民に深谷市の良さを実感させたい

問 市川プランNo6

市のマイクロバスで①渋沢栄一を偲ぶコース②文化財巡りコース③花、植木巡りコース等を毎月行ったら。

答 論語の里巡りコースや公民館事業で既に取り組んでいる事業もあります。今後は、様々な事業も取り組んでいきたいと思います。

観光農園で、農地の有効利用と元気の出る農業を

問 市川プランNo7

シャクヤク園、いちご園、ぶどう園、バラ園等があるがさつま堀、タケノコ堀、ブルーベリーのもぎ取り、梅のもぎ取り等を進める考えは。

答 観光農園は考えません。

〈議会あれこれ「一般質問ってなぁに?」…議案質疑とは別に議員が市の行政全般にわたり執行部側に対し自由に質問できるものです。12月議会では37人の議員が質問をしました。〉